

平成24年度高校生メディカル講座を実施しました

去る7月18日15:50より本校記念館で、今年度の高校生メディカル講座(前期)を実施致しました。今年度の講師は、本校57期卒業生の北海道大学大学院医学研究科医学専攻炎症眼科学講座 特任教授 大野重昭氏、北海道大学大学院保健科学研究院基盤看護学分野 准教授 林裕子氏、助教 大内潤子氏にお越しいただき、「医学を学ぶ意義」、「看護の可視化」という演題で約2時間にわたり講演をいただきました。参加者は、本校生71名。他校15名(管内高校10名中学校5名)。引率教諭3名の計89名の参加となりました。大野先生の講義の中では、盲点や物の見え方に関する実習。多数の海外での診療や研究活動の写真。浦島太郎の真実等、生徒にとっても大変身近で、具体的な物を示していただきました。また、林先生・大内先生の講義では、実際に舌圧の測定を行い、患者が食物を食べる能力を見てわかる値として示していただき、看護師が行う行為は具体的な効果の裏付けがあって行われていることを示していただきました。

今後としては、9月下旬に医学部進学希望者向けの平成24年度医学部生招へい講座と予定しております。

